



県政報告 県政を身近に

埼玉県議会議員

武内まさふみ

たけうち

令和4年
2022
冬季号

Vol.42

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈令和4年を迎えて〉

皆様には、新たな年を迎えられたこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルス対策については、感染防止対策を施しながら社会・経済活動を回していくことが求められています。県議会においては、感染症拡大防止を踏まえた県の対策強化とデジタル化など新しい時代に向けた県政の方向を議論してまいります。

また、昨年は、私が全国都道府県議長会から在職10年以上自治功労表彰を受章いたしました。これまでご支援を賜りました皆様に心から感謝申し上げます。本年も引き続き、地元、県民のために全力を尽くしてまいります。

本年が、明るい年になりますことを心から祈念いたします。

埼玉県5か年計画案 議会修正と付帯決議を採択し承認

次期5か年計画案（令和4～8年度）が9月定例県議会に上程され、閉会中に特別委員会において継続審査を行ってきました。武内委員をはじめ各委員から91の施策に対して、450件の質疑と意見提案が行われました。そのうち37施策（41%）について議会修正案を提出、その他18項目について付帯決議を採択し県の計画案が承認されました。



▲5か年計画特別委員会で審査中の武内県議

動物愛護条例の改正案を可決～自民党議員団が提案～

令和3年6月に施行された動物愛護管理法を受けて、県条例の改正案を自民党議員団が提出し可決されました。改正案には、災害時に飼い主が飼育しているペットと避難所まで安全に避難する「同行避難」を明記しました。また、飼い主になろうとする人にもペットへの理解と知識を深めてもらうとともに、業者に対して知識取得や情報発信の責務を定めました。

令和3年12月定例県議会（令和3年12月2日～12月22日）

〈当初補正予算〉

一般会計…36億1,663万円

ポストコロナの新しい生活様式を見据え、社会経済活動を活性化させるための事業者への支援に要する経費の予算措置とともに、公共事業等の施行時期の平準化、適正工期の確保などを盛り込んだ補正予算を可決。

【主な予算内容】

ポストコロナの新しい生活様式を見据えた社会経済活動の活性化に向けた支援

----- 7億522万円

- 新たにデジタル化に取り組む企業や事業再構築計画を策定する中小企業への支援 ----- 1億2,814万円
- キャッシュレス決済の導入に取り組む商店街への支援 ----- 4,653万円
- 県外からの旅行者も対象とした観光応援キャンペーン ----- 3億5,050万円
- JA直売所や量販店による県産農産物販売促進キャンペーン ----- 1億6,216万円

介護施設・障害者施設における新型コロナウイルス感染症対策の継続

----- 28億2,699万円

- 感染症発生時の人員確保など福祉サービス提供継続への支援 -- 15億1,053万円
- クラスター発生時に看護師派遣により医療体制を確保 ----- 2,136万円
- 「埼玉県地域医療介護総合確保基金」への積立 ----- 12億9,510万円

公共事業等の施行時期の平準化・適正工期の確保

- ＜債務負担行為の設定＞
- 公共事業等 限度額：77億7,840万円
- 県立高校トイレ改修工事 限度額：33億8,022万円
- ＜繰越明許費の設定＞ 98億5,266万円

「予算特別委員会」が設置される

令和4年度予算を審査する予算特別委員会（委員数32人）が設置され、武内県議が委員に選任されました。2月定例会において集中審査が行われます。



〈追加補正予算〉

一般会計…383億1,641万円

新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るため、PCR検査等の無料化に要する経費などを盛り込んだ補正予算を可決。

【主な予算内容】

ワクチン・検査パッケージ等のため必要な無料のPCR検査・抗原定性検査の実施

----- 286億7,500万円

- 対象者：①健康上の理由でワクチン接種を受けられない人
- ②感染拡大傾向時に感染不安等を理由に受検を希望する人

検査事業者の受検体制整備への助成、及びPCR検査についてのコールセンターの運営

- 11億6,591万円
- ドラッグストアや飲食店、イベントなどの検査事業者が、アクリル板の設置などを整備する費用を助成。また、事業者や県民からの検査に関する相談を受けるコールセンターの運営に要する経費。

社会経済活動の再開に向けた支援

----- 31億4,065万円

- これまでの「観光応援キャンペーン」に加え、県内と隣接都県からの観光客を対象に、宿泊割引等の観光応援キャンペーンを展開。

注）追加補正予算は、国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づく補正予算に対応するものであり、財源はすべて国庫支出金（＝国のお金）です。

「ひきこもりの支援に関する条例案」に対する意見募集

自民党議員団では、ひきこもり状態にある方やご家族が安心して支援を受けられるように、条例制定をめざして昨年4月からプロジェクトチームにより検討しています。このたび、条例案の策定にあたり、県民の皆様のご意見を反映させるため県民コメントを募集します。

【募集期間】 令和3年12月23日（木）～令和4年1月24日（月）

【提出方法】 自由民主党埼玉県支部連合会のホームページから専用フォームによりご提出ください。

<http://www.jimin-saitama.net/>



主な地元公共事業の進捗状況

3町（毛呂山町、鳩山町、越生町）における本年度の県公共事業は、概ね順調に進んでいます。その中で現況が確認できる主な事業について紹介します。このほかにも、用地買収や測量設計などを継続的に行っている事業がありますが、次号以降で改めて報告する予定です。

- 越生大橋（飯能寄居線パイパス）の橋脚補強、落橋防止工事及び塗装塗替
令和4年3月までに完了予定です。



▲越生大橋の工事の様子

- 県道越生長沢線（越生町小杉地内）の歩道整備

歩道の未整備区間（梅園神社付近）の工事（121m）を令和3年12月から令和4年3月まで行います。



▲梅園神社前の歩道未整備区間

- 鎌北湖（毛呂山町）の農業用ため池緊急耐震化対策事業

平成29年度から行われていた本事業は、周辺部分を含め令和3年度の完了予定です。総工費は約3億5千万円（負担：国50%、県34%、市町16%）



▲まもなく耐震化工事が完了する鎌北湖

- 鳩川（鳩山町熊井地内）の河床低下対策工
令和3年度中に完了する予定です。



▲鳩川の工事の様子

- 越辺川（毛呂山町苦林地内）の河川改修

越辺川の今川橋（毛呂山町苦林地区）の上下流部の樹木伐採、築堤工事等が完了し、現在さらに上流部分の築堤工事が行われています。



（撮影：令和3年4月）

▲樹木伐採、築堤工事が完了した越辺川（今川橋付近）

- 県道ときがわ坂戸線（鳩山町赤沼地内）の歩道バリアフリー化

令和4年3月までに完了の予定です。



▲県道ときがわ坂戸線 今年度中に工事完了予定です。

武内県議 全国都道府県議長会から在職10年以上自治功労表彰を受章

埼玉県議会では12人の議員が表彰を受け、12月2日の開会日に本会議で報告されました。



▲議長・副議長と受賞者一同



武内まさふみの活動日誌

要望活動

- 新川越越生線の整備促進に関する知事への要望

（10月19日）

東武越生線を横断し県道日高川島線までの工事の早期完成とともに、毛呂山町、越生町までの全路線の事業の促進を、関係する市・町長及び県議会議員が知事に要望しました。



▲要望書を受け取る橋本副知事

- 県の林業対策に関する知事への要望（11月11日）

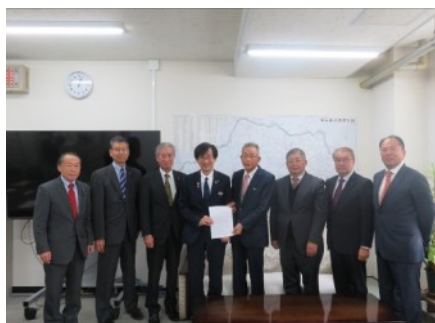
秩父、西川、比企大里、児玉の4林業対策協議会は、知事に対して、木材の伐採から流通加工までの支援をはじめ、森林被害への対応、森林環境譲与税を活用するための市町村連携、県産木材の一層の利用拡大などを要望しました。



▲要望書を受け取った大野知事と

- （公財）埼玉県私立幼稚園教職員退職金財団からの予算要望（11月18日）

当財団は、私立幼稚園の教職員に対する退職金資金を運用・管理して、各幼稚園の退職手当資金を給付する役割を持っています。要望には、3県議（武内県議他2人）が立ち会い、財団から総務部長に対して要望書を手渡しました。



▲県議立ち合いのもとで予算要望

視察

- 県議会ラグビー振興議員連盟「さくらオーバルフォート」（熊谷市）を視察

（11月24日）

武内県議はメンバーとして、2021年9月にオープンしたラグビーを中心とした国内初の複合施設「さくらオーバルフォート」を視察しました。この施設は、ラグビーワールドカップ2019の会場となった熊谷ラグビー場に隣接したエリアに、埼玉県ラグビーフットボール協会が建設したものです。ここは、埼玉パナソニックワイルドナイツの本拠地として、チームのトレーニングルームをはじめ、チームの練習グラウンド、スポーツ団体など一般の人が泊まれる宿泊棟、レストランなど多彩な機能を有しています。



▲クラブハウスとカフェが入る管理棟